

【同窓会だより】

29 回生の第 19 回クラス会報告

瀧本 卓生(29 回生)

秋気身にしむ爽やかな季節の 10 月 22 日(水)～23 日(木)に、私共のクラス会を三重県鳥羽市の風光明媚な鳥羽湾を望む「老舗」戸田家旅館 嬉春亭において開催しました。

年々歳々、加齢と共にクラスメイトも既に 2 割が亡くなり、近いところでは品川敏夫様が亡くなったのは悲しいことでした。ご冥福をお祈りします。

又、ご本人やご家族の体調不良などによるご欠席の方も多くなっていくなかで、今回ご出席の方々のお若くお元気なご様子に接し、先ず感服しました。

クラス会の魅力に引きつけられて、北九州市・下関市・山口市・神戸市・舞鶴市・京都市・長野市・静岡市の遠方から、ご夫人ご同伴の方 6 名・ご単身の方 6 名、計 18 名の皆様にご参加いただきました。

クラス会では、先ず乾杯の音頭取りを最年長でありながら最も若く元気な吉田勉様をお願いし、終始、和やかに賑やかに、昔・今の話に興じ秋の夜長を過ごしました。

有朋自遠方来 不亦楽乎 [論語]

開催地である伊勢志摩国立公園は見物するところのことかきません。今回は時間的な制約があったため、朝熊山スカイラインを通り、伊勢神宮「内宮」参拝と、おはらい町とおかげ横丁を散策しました。

23 日は晴天とはまいませんでしたが一滴の雨にも遭わず、この後神宮会館にて昼食し、宇治山田駅・伊勢市駅に送ってもらって散会しました。

年に 1 回、逢う時の嬉しさに比べ、見送る時の寂しさは堪りません。

勸酒 干武陵

勸君金屈卮 満酌不須辞
 花発多風雨 人生足別離
 コノサカズキヲウケテクレ
 ドウゾナミナミツガシテオクレ
 ハナニアラシノタトエモアルゾ
 サヨナラダケガ人生ダ
 井伏鱒二訳

来年は小林忠秋様をお願いして、長野県で開催する事と決まりました。



写真:辻井敎
以上